



2026年6月期 決算説明会資料

株式会社インテリジェント ウェーブ
2026年8月7日

2026年6月期実績

- ・ 主要顧客向けシステム更改案件が好調に推移し、売上高、営業利益ともに過去最高を更新
- ・ 期初から続いた品質対応は当期中に収束し、収益機会は回復傾向
- ・ 5月公表の修正予想は、売上、利益ともに上回る

2027年6月期業績予想

- ・ インフラ運用基盤の整備や自社プロダクト強化、AI活用等への成長投資を実施する中で、増収増益を計画
- ・ 次期中期経営計画を見据え、経営基盤の強化を推進

2026年6月期 業績と成果

中期経営計画進捗と2027年6月期業績予想

参考資料

2026年6月期 業績サマリー



- 主要顧客向けシステム更改案件等が進捗し、増収増益。売上高および各利益は過去最高を更新
- 期初から続いた品質対応は当期中に収束し、収益性は回復基調。5月公表の修正予想も売上、利益ともに達成
- 受注高、受注残高は前年の大型複数年契約案件の反動により減少したものの、主要顧客向け案件を中心にシステム開発需要は堅調に推移

単位：百万円

	25年6月期実績		26年6月期実績		増減	前期比	26年6月期 修正予想 ※	修正予想比
	金額	売上比	金額	売上比				
売上高	15,596	-	17,247	-	+1,650	+10.6%	17,200	100.3%
売上総利益	4,666	29.9%	4,948	28.7%	+281	+6.0%	-	-
販売管理費	2,818	18.1%	2,872	16.7%	+53	+1.9%	-	-
営業利益	1,848	11.9%	2,076	12.0%	+227	+12.3%	2,000	103.8%
経常利益	1,890	12.1%	2,129	12.3%	+238	+12.6%	2,050	103.9%
当期純利益	1,349	8.7%	1,487	8.6%	+137	+10.2%	1,420	104.7%
受注高	19,322	-	15,365	-	△3,957	△20.5%	※2026年5月公表	
受注残高	20,311	-	18,429	-	△1,881	△9.3%		

2026年6月期 売上高（事業領域別）

- 決済領域は、主要顧客のシステム更改案件等によりFEP・不正検知分野が伸長
- データ通信・分析基盤領域は、証券会社向けシステム開発等により増加

単位：百万円

		25年6月期 実績	26年6月期 実績	増減	前期比
売上高		15,596	17,247	+1,650	+10.6%
決済		12,755	14,285	+1,529	+12.0%
	FEP*	5,525	6,315	+789	+14.3%
	不正検知	2,604	3,467	+862	+33.1%
	アクワイアリング	2,851	2,693	△158	△5.6%
	その他	1,772	1,809	+36	+2.0%
セキュリティ		2,022	2,067	+44	+2.2%
データ通信・分析基盤		817	894	+77	+9.4%
参考) クラウドサービス		3,479	4,293	+813	+23.4%

*FEP（Front-End Processor）システム：クレジットカード決済処理に必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつハードウェア、及びソフトウェア

2026年6月期 売上高（製品カテゴリ別）

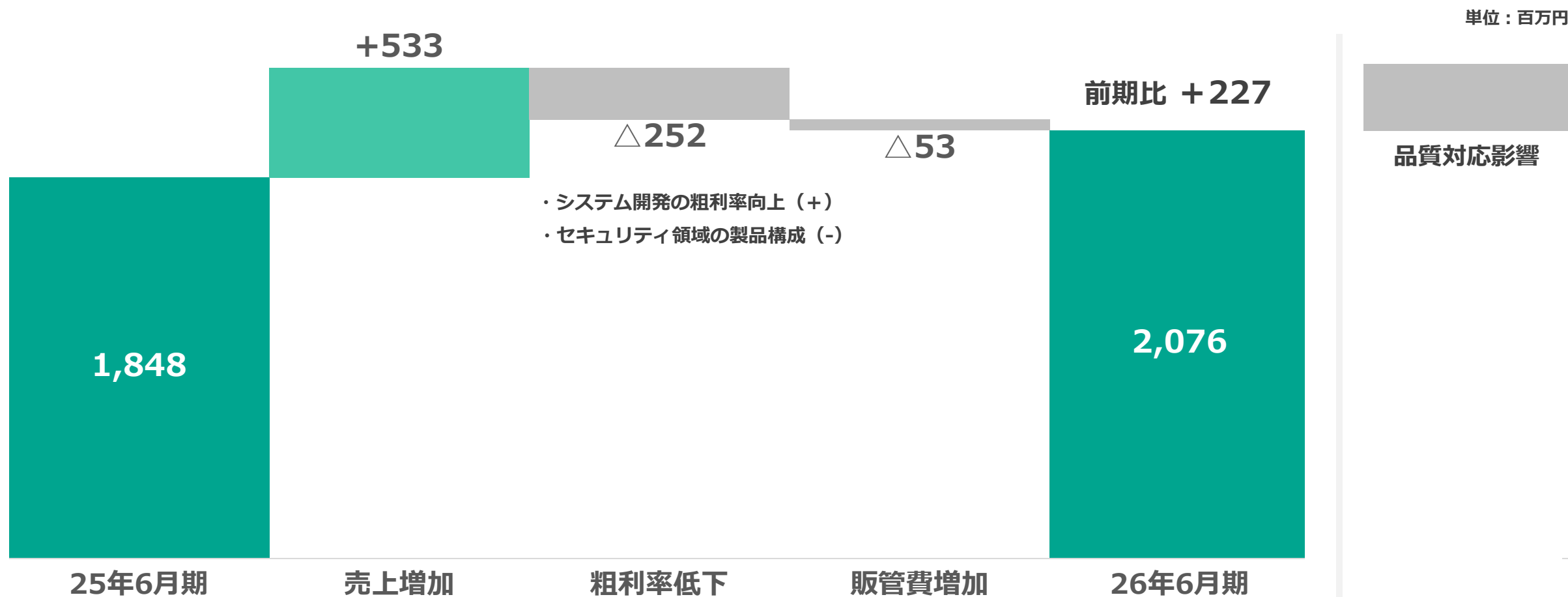
- システム開発は、上期は大型案件収束の影響を受けるが、下期から主要顧客向けシステム更改案件等が進捗
- クラウドサービスは、ユーザー数増加や、既存ユーザーの機能追加等により増加
- 他社製品は、主要顧客向けFEPシステム更改に伴うハードウェア販売により大幅に増加

単位：百万円

	25年6月期 実績	26年6月期 実績	増減	前期比
売上高	15,596	17,247	+1,650	+10.6%
システム開発	6,838	6,187	△651	△9.5%
保守	1,619	1,677	+57	+3.6%
自社製品・サービス	548	807	+259	+47.3%
他社製品（ハードウェア等）	1,087	2,214	+1,127	+103.7%
クラウドサービス	3,479	4,293	+813	+23.4%
セキュリティ	2,022	2,067	+44	+2.2%

2026年6月期 営業利益

- 一部顧客向け品質対応やセキュリティ領域の粗利率低下等の影響を受けるが、売上増加により増益
- 期初から続いた品質対応は当期中に収束し、第3四半期以降は収益性が改善
- 第4四半期は、主要案件を中心にシステム開発の粗利率が堅調に推移



2026年6月期 半期別業績推移

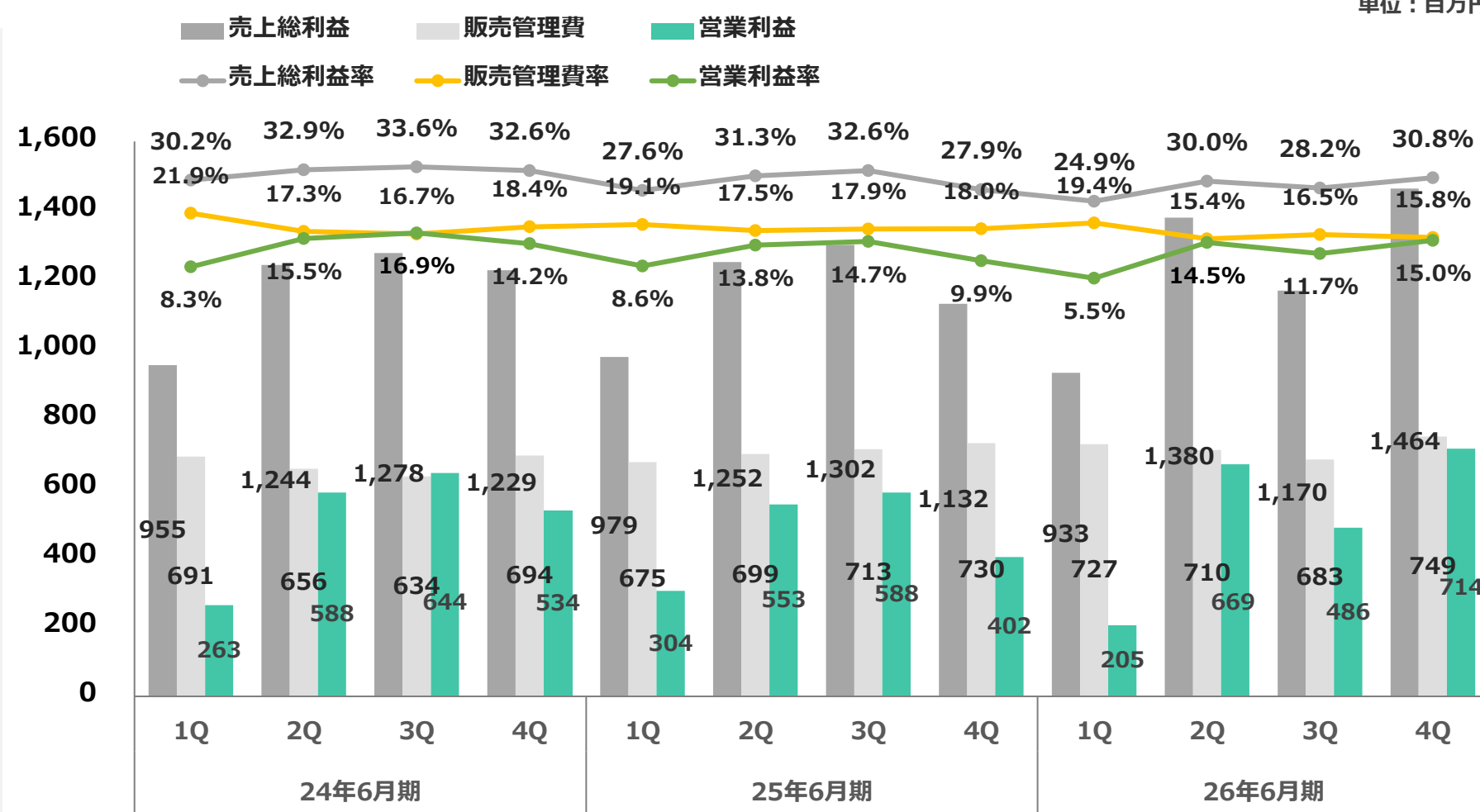
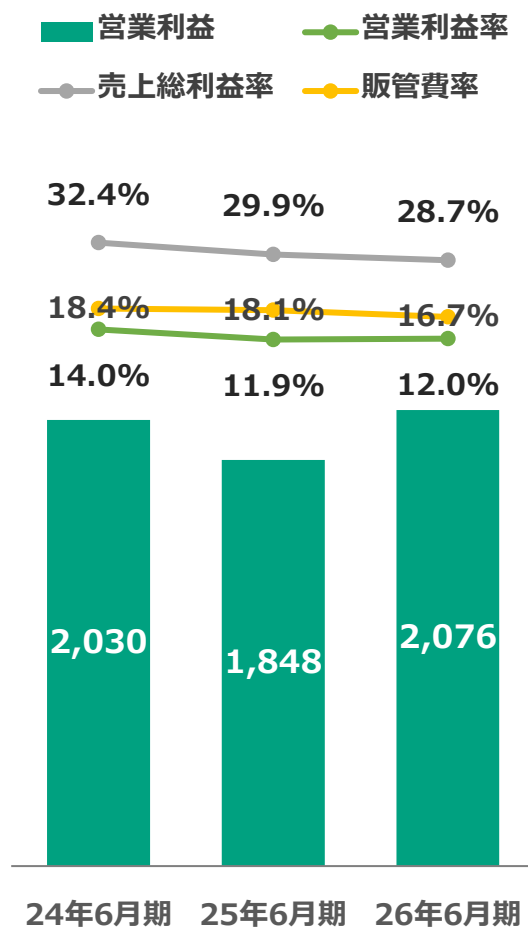


単位：百万円

	25年6月期実績		26年6月期実績	
	上期	下期	上期	下期
売上高	7,540	8,055	8,352	8,894
システム開発	3,479	3,359	2,769	3,417
保守	796	822	832	844
自社製品・サービス	165	383	408	398
他社製品（ハードウェア等）	647	440	1,312	902
クラウドサービス	1,527	1,952	2,035	2,257
セキュリティ	923	1,098	993	1,073
営業利益 (営業利益率)	857 (11.4%)	991 (12.3%)	875 (10.5%)	1,200 (13.5%)

営業利益推移

単位：百万円

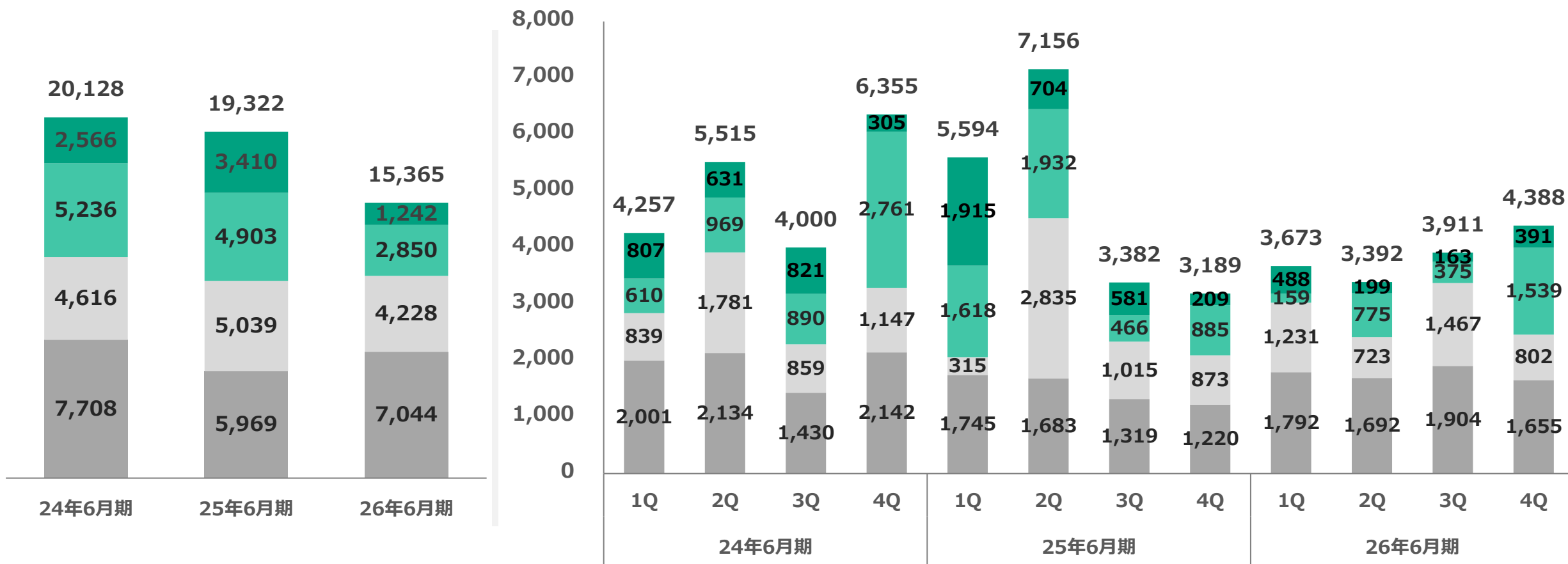


受注高（製品カテゴリー別）

- 前年にクラウドサービス・セキュリティ領域等で大型の複数年契約案件を獲得した反動により減少
- システム開発は、主要顧客向けシステム更改案件等により増加

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円

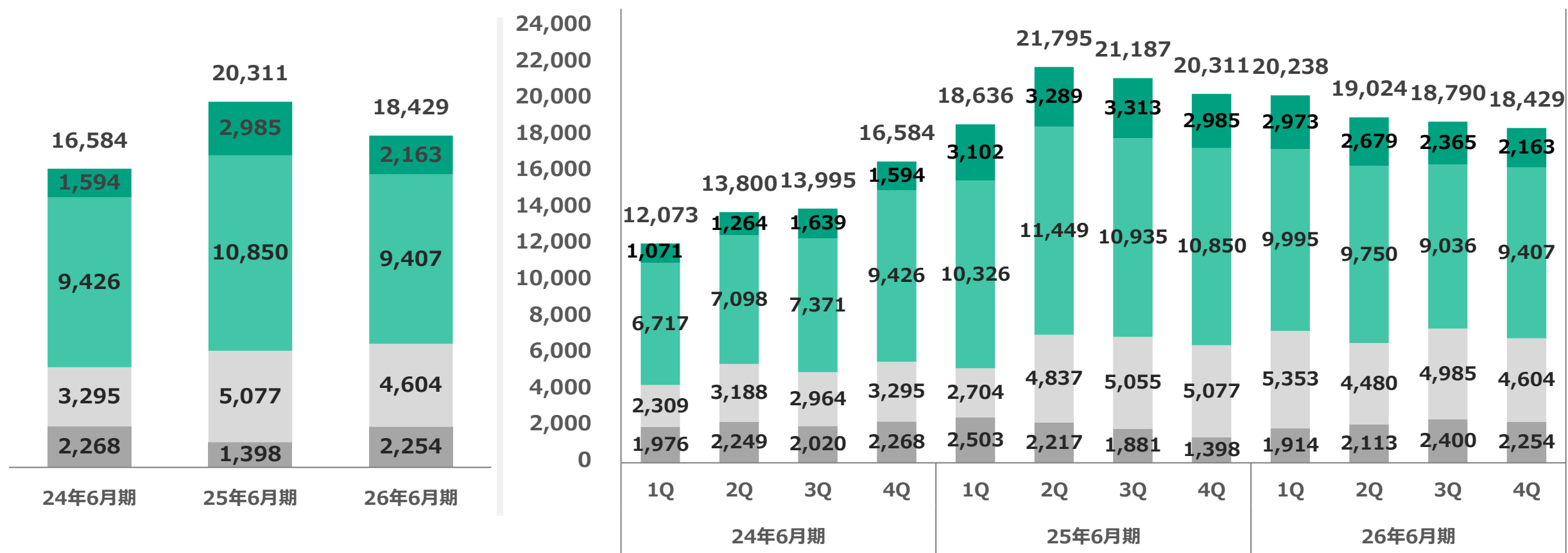


受注残高（製品カテゴリー別）

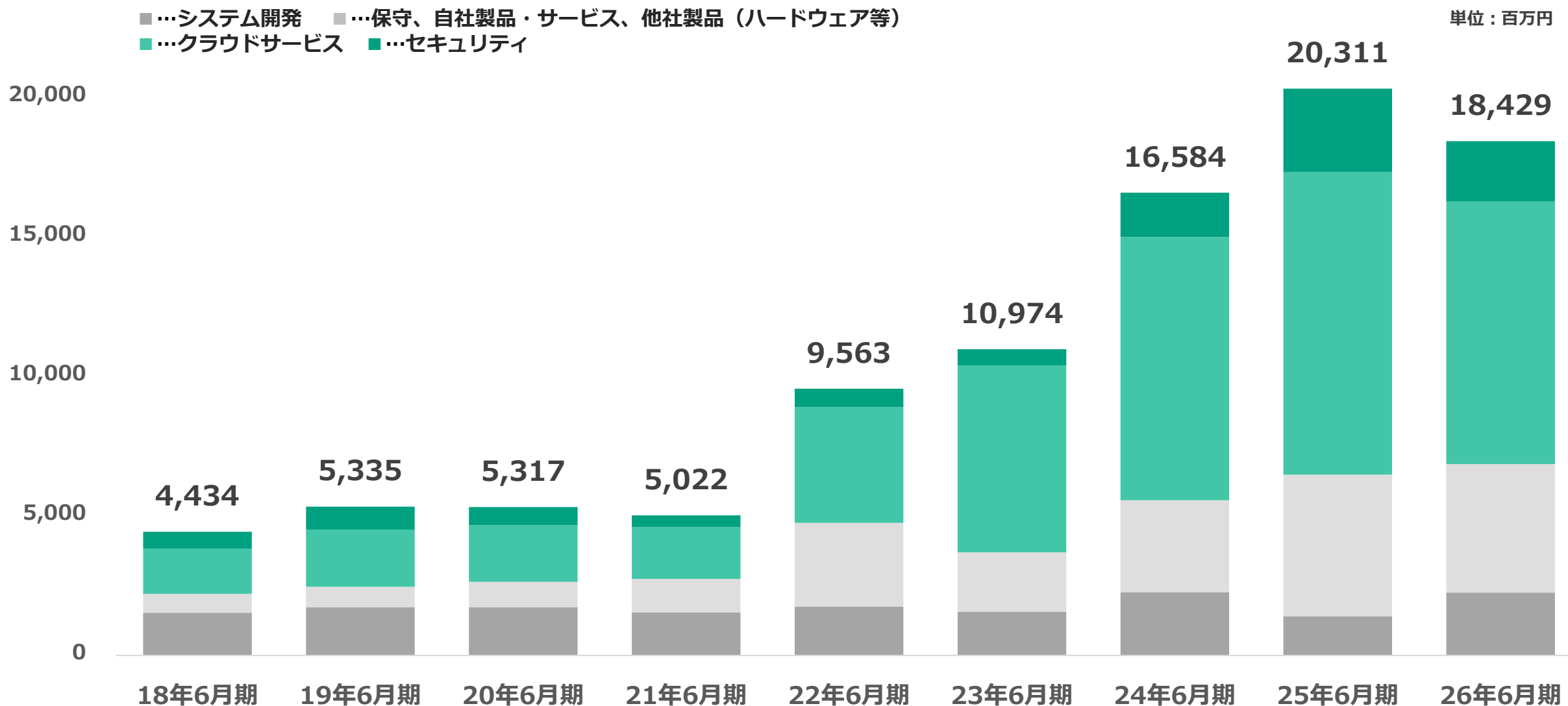
- 前年の大型複数年契約案件の影響により減少
- システム開発は、主要顧客向けシステム更改案件等により増加
- 前期比では減少するが、24年6月期から受注残高の規模は拡大

■ …システム開発 ■ …保守、自社製品・サービス、他社製品（ハードウェア等）
 ■ …クラウドサービス ■ …セキュリティ

単位：百万円



受注残高（長期推移）



2026年6月期 業績と成果

中期経営計画進捗と2027年6月期業績予想

参考資料

- 売上高は、決済領域がけん引し、ほぼ計画通りに推移するが、セキュリティおよびデータ通信・分析基盤領域は中計計画に対して進捗が遅れ
- 持続的な成長に向けた収益基盤の強化や成長基盤整備、AI活用を前提とした事業運営の高度化を推進

単位：百万円

	25年6月期 実績	26年6月期 実績	26年6月期 中計計画	中計計画比	27年6月期 中計計画
売上高	15,596	17,247	17,400	99.1%	19,000
決済	12,755	14,285	14,100	101.3%	14,600
セキュリティ	2,022	2,067	2,250	91.9%	2,800
データ通信・分析基盤	817	894	1,050	85.2%	1,600
営業利益	1,848	2,076	2,400	86.5%	2,850
営業利益率	11.9%	12.0%	13.8%	△1.8%	15.0%
ROE	14.4%	15.2%	—	—	17.0%以上

事業領域

27年6月期の重点施策

具体的な取り組み

決済

- 品質管理体制の高度化・定着
- AIを活用した開発・品質の高度化
- FEPシステムのクラウド対応の技術者育成
- インフラ運用基盤の集約・効率化
- クラウドサービスの収益性改善
- 決済ソリューションの高度化による提供価値向上

- 品質管理用AIエージェントの開発
- AI駆動開発の実装他（生産性の改善 売上総利益率1.9%UP）

- 当社クラウドサービスのFEP、アクワイアリング機能を組み合わせた新たなサービスを1社導入済。2027年6月期は他社へ展開拡大（1社構築中）

- 運用の標準化・集約により、統制可能な運用基盤への転換が進展。2027年6月期は運用プラットフォーム構築に着手

セキュリティ

- 「CWAT」のバージョンアップ開発、AI適用
- 「製品販売」から「製品×サービス」のビジネスモデルへ転換
- 24/365運用監視の体制構築

- プロダクトへのAI機能追加
 - カード不正利用対策の高度化
 - ユーザーの利便性向上、マニュアルAI、ガイドラインAIなどを実装するCWATv7.0を11月にリリース予定
 - 金融/資本市場における取引の高度化・異常検知

データ通信・分析基盤

- コア技術を活用した新ソリューション創出の取り組み加速

全社共通施策：

- AI活用
- 人材戦略：強化人財像と重点ロールの明確化、AI前提業務への転換と人財マネジメント変革（標準化、知識活用）

開発や品質保証にAIを組み込み、開發生産性と品質の向上を強化するとともに、既存サービスの高度化や、新規事業創出に取り組む

① 社内変革（守り・効率）

自社の開発・品質保証にAIを実装し 生産性と品質を高める

- ・ AI駆動開発
CWAT製品開発で先行し、設計・実装・テストの全工程へ適用
- ・ AIによる品質保証の高度化
QCD※¹のAI監視／AI駆動開発の品質統治
- ・ AI駆動開発ツールの利用促進・活用深化
AI活用中核人材が牽引

狙い

開發生産性・品質を高め
再投資の原資となるリソースを
創出

② 既存事業の高度化

既存事業にAIを組み込み 提供価値を高める

- ・ 決済 × AI
不正検知の高度化
- ・ セキュリティ × AI
「CWAT」等へのAI適用
- ・ 運用 × AI
監視・運用サービスの高度化

狙い

既存サービスの競争力・付加価値
を高め、収益基盤を強化

③ 新規事業の創出

既存の強みを起点に、AI時代の 成長市場で新たな収益源を育てる

- ・ AI組込み型サービスの創出
- ・ 次世代決済への接続・不正検知・監視
- ・ AIエージェント統制
CWATの知見をAI時代の脅威へ拡張

狙い

中長期の新たな成長ドライバー
を確立

① で創出したリソース・実践知を ② ③ へ再投資

全社基盤

- ・ AIガバナンスの整備（利用ガイドライン・標準ツール・安全利用）
- ・ AI活用中核人材の育成・配置

※¹ QCD = 品質(Quality)・コスト(Cost)・納期(Delivery)

既存事業で培った技術資産を活用し、次世代決済、金融・資本市場、データ活用・ガバナンスなどの成長領域で実証・協業を推進

	① 既存領域の強化・拡大		② コア技術の転用・展開		③ 将来への布石
領域	次世代決済 AIエージェント・デジタル通貨時代の決済	金融・資本市場 市場取引の高度化・異常検知	データ活用・ガバナンス 非構造化データの活用・証跡管理	オープンイノベーション 外部技術の取り込みと事業機会の探索	先端技術研究 次世代コンピューティング・先端暗号の研究
活用する当社技術	決済処理不正検知	不正検知証券システム	内部脅威対策(CWAT)	決済・金融・セキュリティの技術資産	高速処理技術(FPGA※)
主な取組み状況	AIエージェント決済の要素技術検証を実施中。パートナー2社との協業により事業化検討を推進 自社×協業	証券業務で培った異常検知技術を適用し、不正取引・リスク顧客検知の検証に着手。 自社推進	CWATを核とした新用途の顧客実証を推進中。商用化検討フェーズへ。加えて新規案件2件を検討中 自社×協業	外部技術との連携による、新ソリューション創出を推進。新規協業1件を開始見込み 協業推進	FPGAを基盤にニューロモルフィック計算を研究中。超低消費電力・リアルタイムAI処理の実用化を見据えた技術蓄積 研究

既存事業で培った技術資産
 決済・金融システム構築 / リアルタイム・高速処理技術（FPGA） / 不正検知・異常検知 / 内部脅威対策・証跡管理

※FPGA：処理回路を自在に書き換えられる半導体。金融取引に求められる超高速・低遅延処理を長年支えてきた当社のコア技術であり、先端技術研究の基盤

2027年6月期 業績予想

- カード会社・決済事業者におけるIT投資需要が引き続き底堅く推移する見通しで、増収増益を計画
- 利益面では、前期に発生した品質対応の影響は収束したが、引き続き品質管理の強化や生産性向上の取組みを進め、収益性の改善を図る
- インフラ運用基盤の整備や自社プロダクト強化、AI活用等の将来成長に向けた投資を実施

単位：百万円

	26年6月期実績		27年6月期業績予想		増減	前期比
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	17,247	-	17,700	-	+452	+2.6%
売上総利益	4,948	28.7%	5,350	30.2%	+401	+8.1%
販売管理費	2,872	16.7%	3,150	17.8%	+277	+9.7%
営業利益	2,076	12.0%	2,200	12.4%	+123	+6.0%
経常利益	2,129	12.3%	2,240	12.7%	+110	+5.2%
当期純利益	1,487	8.6%	1,530	8.6%	+42	+2.9%

2027年6月期 業績予想



単位：百万円

	26年6月期実績			27年6月期業績予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	8,352	8,894	17,247	8,800	8,900	17,700	+2.6%
決済	6,970	7,314	14,285	7,350	7,200	14,550	+1.9%
セキュリティ	993	1,073	2,067	970	1,180	2,150	+4.0%
データ通信・分析基盤	387	506	894	480	520	1,000	+11.8%
営業利益 (率)	875 (10.5%)	1,200 (13.5%)	2,076 (12.0%)	1,000 (11.4%)	1,200 (13.5%)	2,200 (12.4%)	+6.0%
経常利益 (率)	901 (10.8%)	1,227 (13.8%)	2,129 (12.3%)	1,020 (11.6%)	1,220 (13.7%)	2,240 (12.7%)	+5.2%
当期純利益 (率)	606 (7.3%)	880 (9.9%)	1,487 (8.6%)	700 (8.0%)	830 (9.3%)	1,530 (8.6%)	+2.9%

2027年6月期 業績予想（製品カテゴリ別）

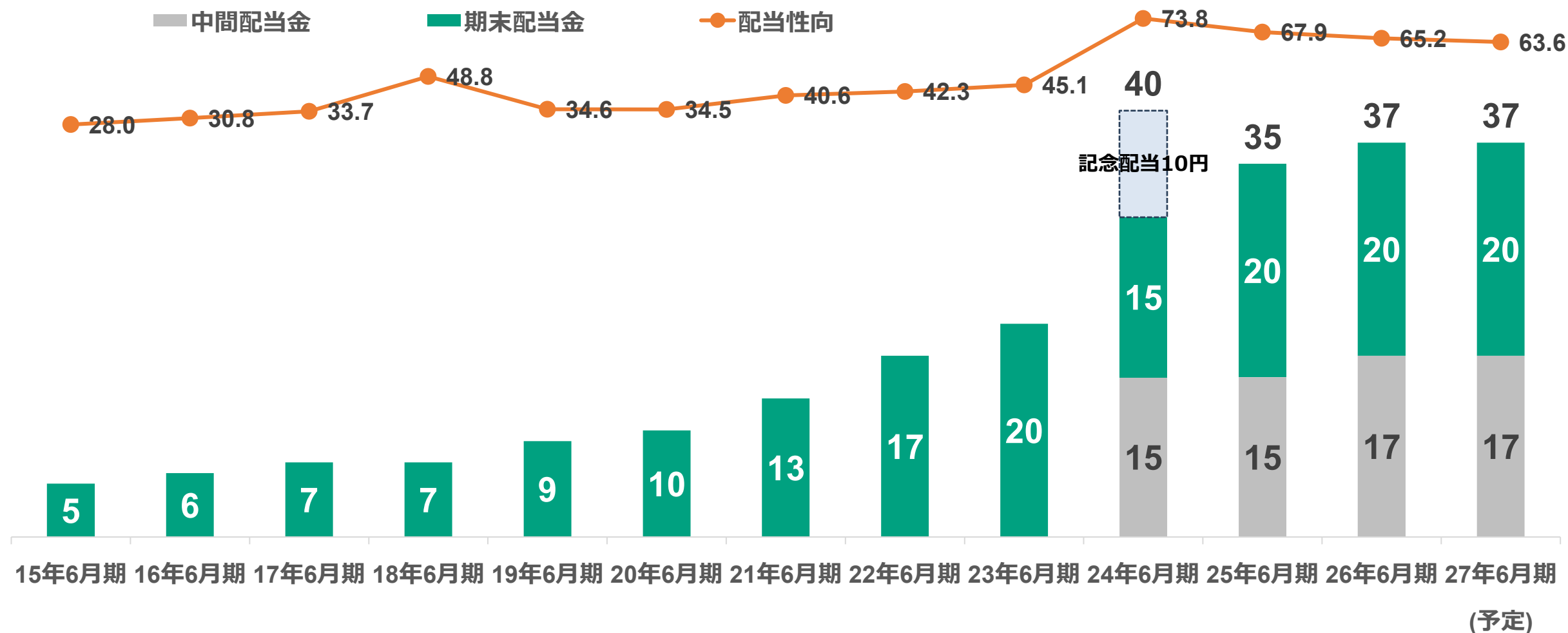
- システム開発は、主要顧客向けシステム更改案件を中心に堅調に推移する見込み
- ハードウェア販売は前期並みの水準を見込み、前期の大幅増収からは伸び率が落ち着く見通し
- クラウドサービスは、顧客基盤の拡大を背景に、安定的な成長を継続する見通し

単位：百万円

	26年6月期実績			27年6月期業績予想			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	8,352	8,894	17,247	8,800	8,900	17,700	+2.6%
システム開発	2,769	3,417	6,187	3,190	3,130	6,320	+2.1%
保守	832	844	1,677	830	870	1,700	+1.4%
自社製品・サービス	408	398	807	420	380	800	△0.9%
他社製品（ハードウェア等）	1,312	902	2,214	1,120	1,060	2,180	△1.6%
クラウドサービス	2,035	2,257	4,293	2,270	2,280	4,550	+6.0%
セキュリティ	993	1,073	2,067	970	1,180	2,150	+4.0%
営業利益 (率)	875 (10.5%)	1,200 (13.5%)	2,076 (12.0%)	1,000 (11.4%)	1,200 (13.5%)	2,200 (12.4%)	+6.0%

株主還元

- 基本方針は、配当性向50%を目安とした安定配当
- 26年6月期の期末配当は、期初予想通り、1株あたり20円を予定
- 27年6月期配当は、1株あたり中間配当17円、期末配当20円の年間配当37円を予定



2026年6月期 業績と成果

中期経営計画進捗と2027年6月期業績予想

参考資料

2026年6月期 製造原価



単位：百万円

25年6月期						26年6月期							
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
材	料				費	17	5	6	11	15	4	4	2
労	務				費	770	747	751	742	798	795	804	797
経					費	819	814	790	1,003	908	945	954	1,019
外	注	加	工		費	1,064	1,032	969	901	854	871	914	986
当	期	総	製	造	費用	2,672	2,600	2,518	2,659	2,576	2,616	2,678	2,806
期	首	仕	掛		品高	206	383	243	282	128	242	243	248
期	末	仕	掛		品高	383	243	282	128	242	243	248	198
他	勘	定	振	替	高	385	429	271	377	207	225	228	289
当	期	製	品	製	造価	2,109	2,311	2,207	2,436	2,254	2,389	2,445	2,567
原													

2026年6月期 販売費及び一般管理費



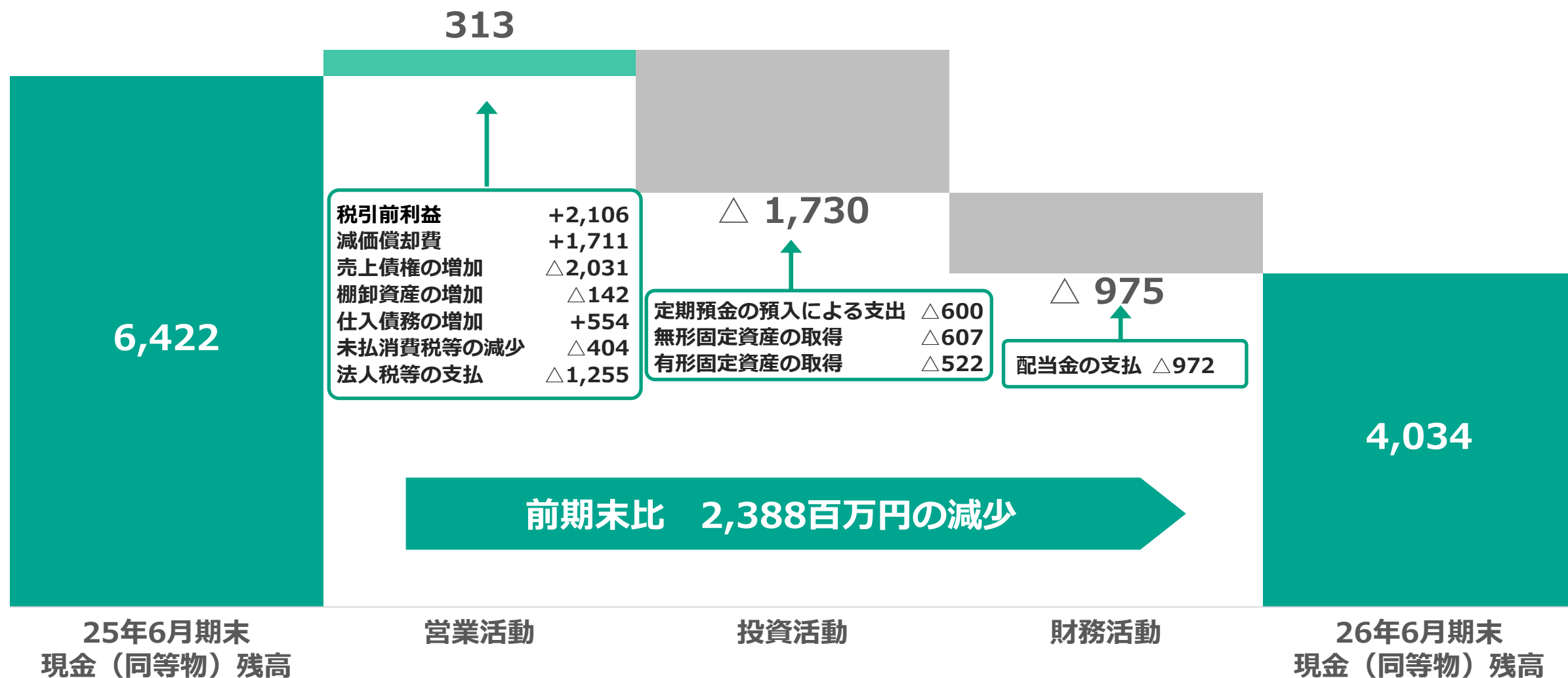
単位：百万円

	25年6月期				26年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
人件費	407	428	416	431	438	434	427	447
採用・教育費	18	12	12	40	21	11	21	46
設備・維持費等	108	112	110	115	115	116	114	120
広告宣伝費	13	14	26	12	5	11	7	9
その他	127	131	146	129	146	138	114	126
合計	675	699	713	730	727	710	683	749

	25年6月期	26年6月期	増減
販管費	2,818	2,872	+53
		人件費	+63
		採用・教育費	+15
		設備・維持費等	+19
		広告宣伝費	△33
		その他	△10

2026年6月期 キャッシュ・フロー

単位：百万円

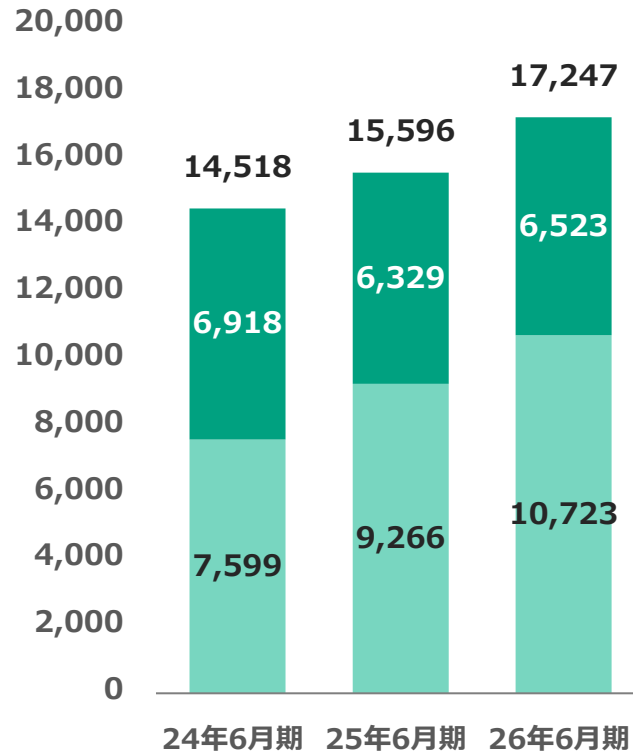


参考) スtock/フロー別の売上高・受注残高

■ スtock/フロー別 売上高

■ スtock ■ フロー

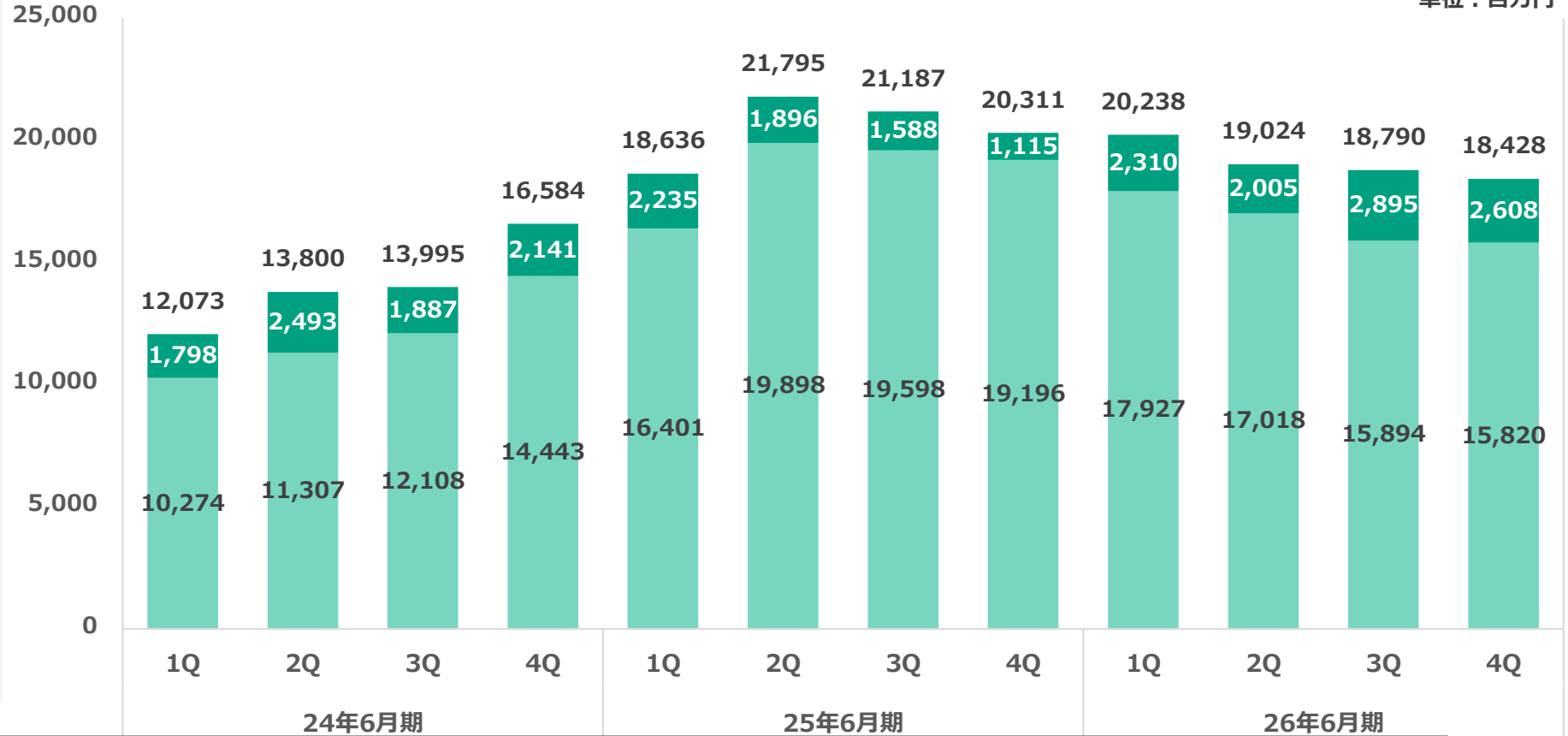
単位：百万円



■ スtock/フロー別 受注残高

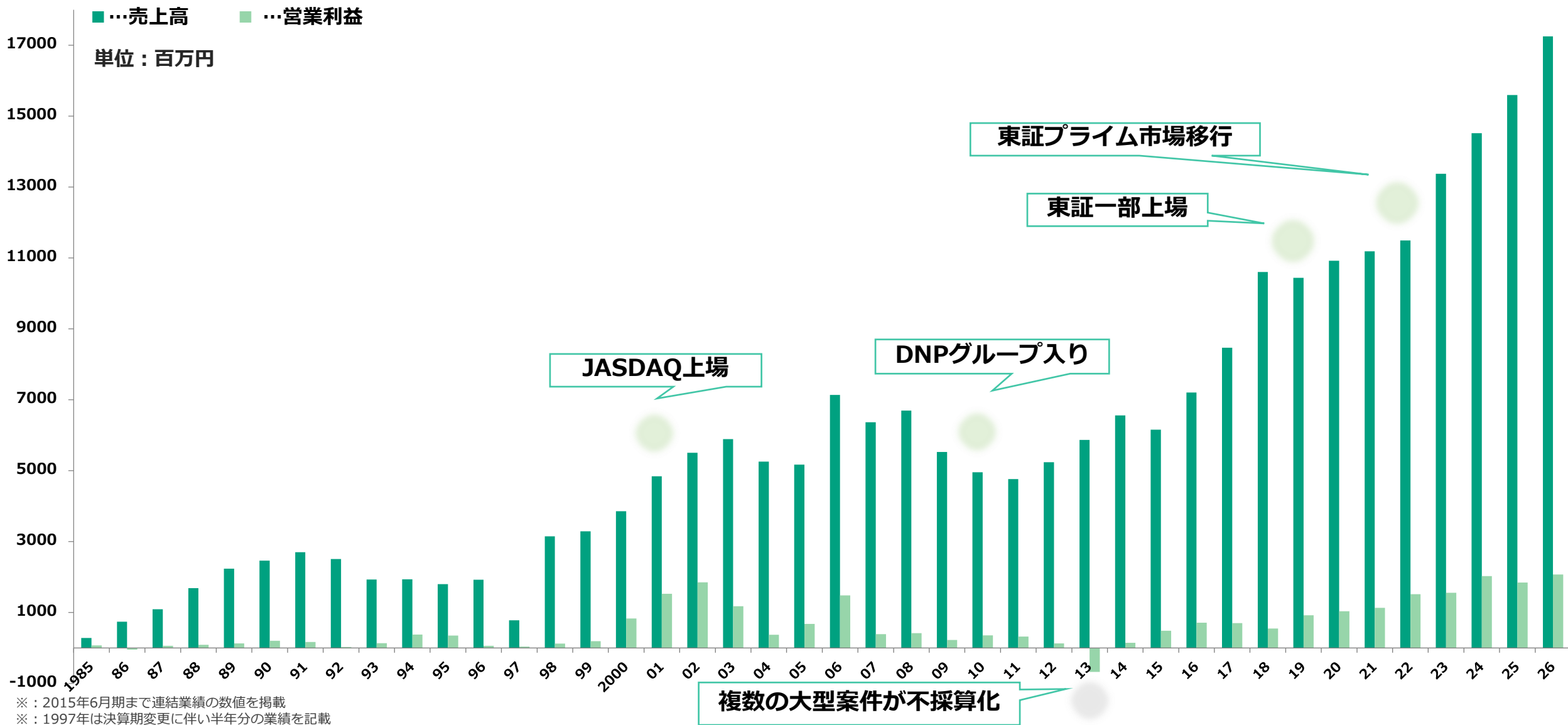
■ スtock ■ フロー

単位：百万円



ストック：契約の形態や業務の実態等から判断して、定常的に一定規模の売上高を計上できる案件
 (クラウドサービスやセキュリティ製品の利用料、自社サービス、システム運用保守、自社製品や他社製品の保守等)
 フロー：契約の規模や成立時期が定常的ではない案件 (システム開発、自社製品や他社製品の販売等)

長期業績推移



設立 1984年12月27日

所在地 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー

従業員数 534名

親会社 大日本印刷株式会社（50.73%*）

資本金 843,750千円

発行済株式数 26,340,000株

株主数 12,055名

(2026年6月末現在)

株式数比率		株主数比率	
個人・その他	39.79%	個人・その他	98.57%
金融機関	2.72%	金融機関	0.05%
国内法人	51.19%	国内法人	0.41%
外国法人等	3.30%	外国法人等	0.77%
証券会社	2.77%	証券会社	0.19%
自己名義株式	0.23%	自己名義株式	0.01%

* 自己株式数を除く発行済み株式数に対する割合



**本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、
また今後、予告なしに変更されることがありますので、ご注意ください。**

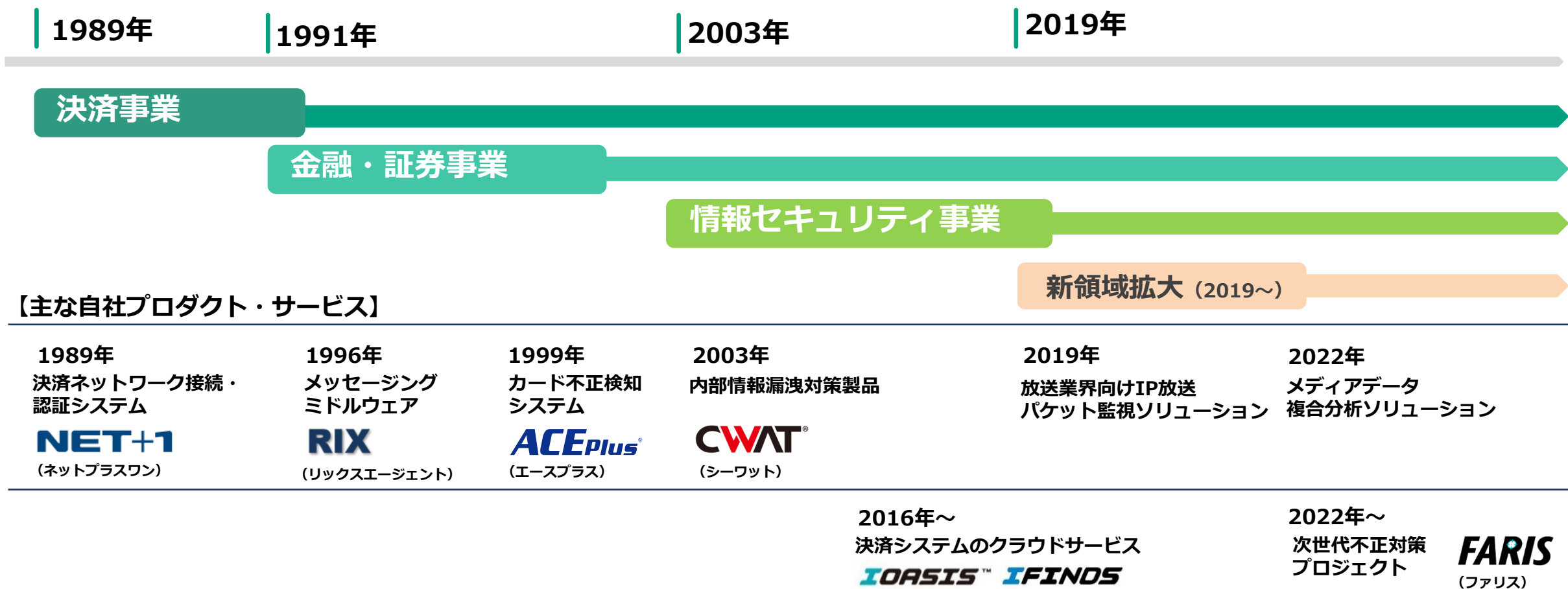
株式会社インテリジェント ウェーブ

経営管理本部 IR・サステナビリティ推進室

E-mail: ir_info@iwi.co.jp

参考) 事業変遷

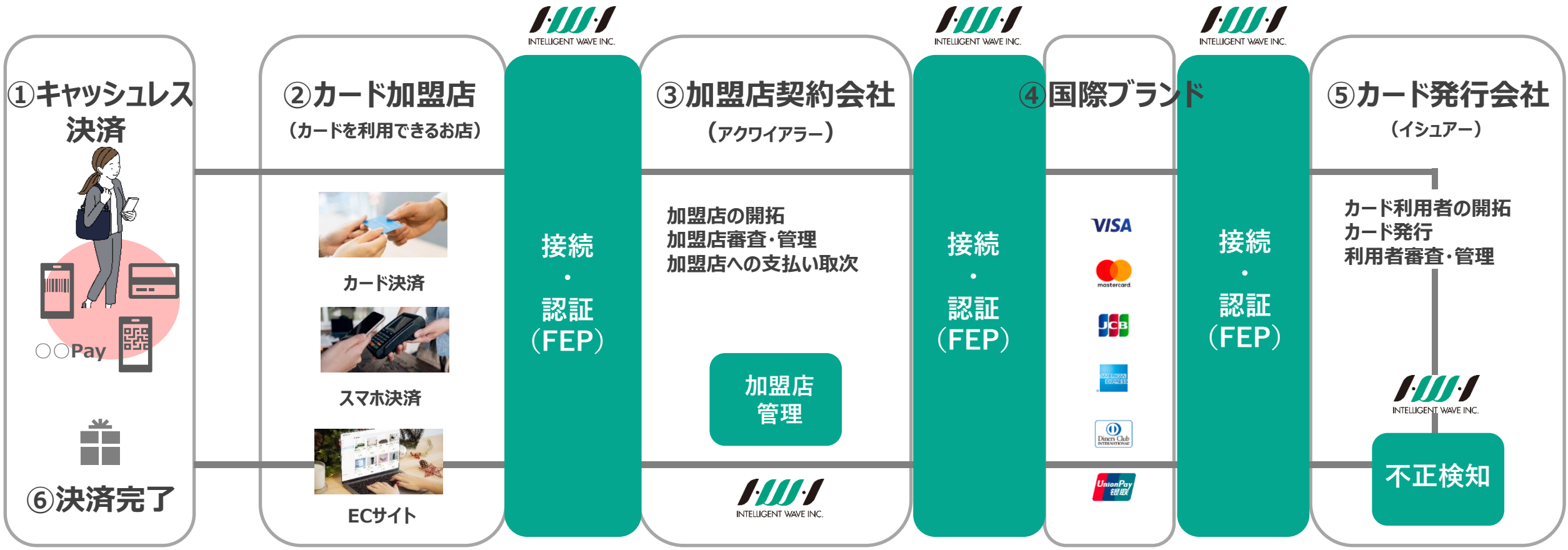
- ・ 1980年代に、国内における24時間365日オンラインカード決済の実現に貢献
決済ネットワーク接続・認証システム「NET+ 1」を開発し、トップシェアを獲得
- ・ 高速・大容量のデータ通信・分析技術をコア技術に、自社プロダクトを開発
- ・ 2003年に、内部情報漏洩対策製品「CWAT」を開発し、情報セキュリティ事業に参入



参考) キャッシュレス決済の仕組み

店舗や、ECサイト等において、キャッシュレス決済を利用すると、いくつかの事業会社のシステムを経由し、決済が完了する

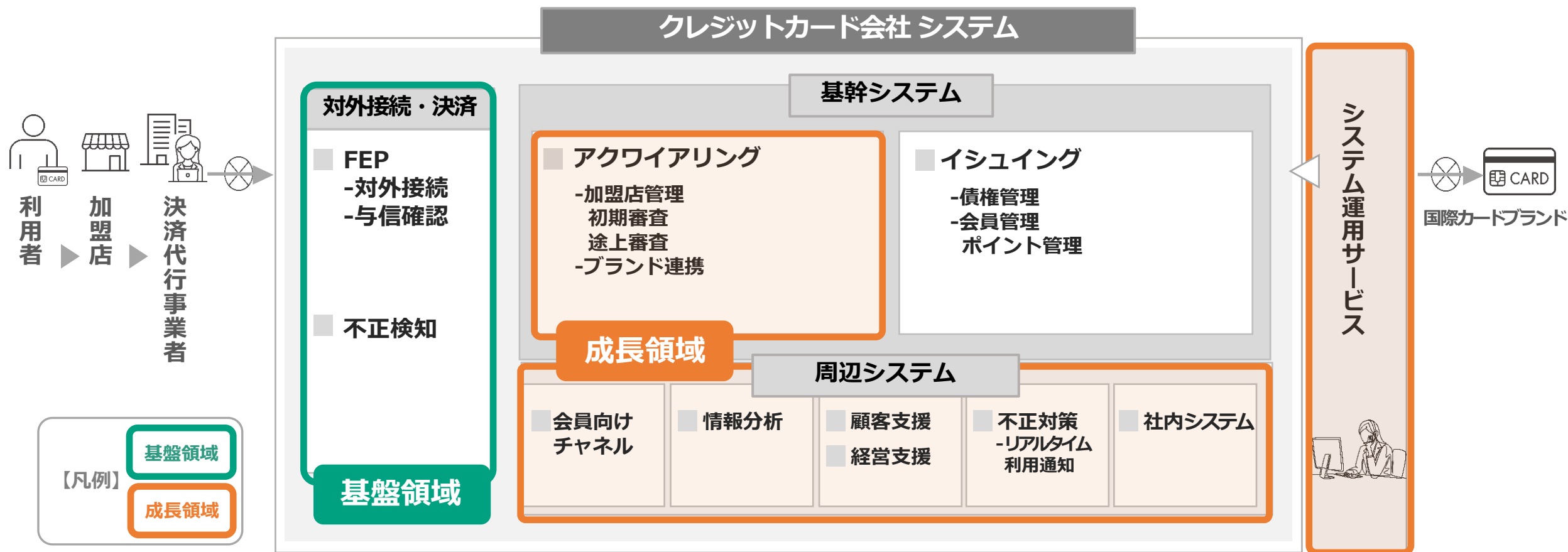
当社領域



※：一部ネットワークおよびデータの流れ等を省略しています

参考) クレジットカード会社における当社決済領域

クレジットカード会社システムの対外接続部分において、シェアが高い。
今後は、アクワイアリング分野や、システム運用サービス等を中心に領域拡大を進める



FEP、不正検知、アクワイアリング分野は、自社プロダクト・サービスをベースにシステムを提供

分野	機能	オンプレ開発	クラウドサービス
FEP シェア 73%※	24時間365日無停止で各種決済ネットワークとの接続や、カードの利用認証（オーソリ取引）を実施	■ 決済ネットワーク接続・認証システム NET+1	■ 決済ネットワーク接続・認証サービス
不正検知 シェア 62%※	カード利用時に、リアルタイムに不正利用を検知。ルール判定、AIスコアリング等によって不正対策を実施	■ カード不正検知システム ACEplus	■ カード不正検知サービス IFINDS FARIS PKSHA TECHNOLOGY ■ FARIS 共同スコアリングサービス Powered by PKSHA Security
アクワイアリング	売上管理、加盟店精算等、アクワイアリング事業に必要な全ての機能を提供	■ アクワイアリング業務システム IOASIS ™	■ アクワイアリング業務サービス IOASIS ™

※クレジットカード会社主要25社における導入社数（当社調べ、2025年9月時点）
※クラウドサービスの提供も含む

オンプレ開発	クラウドサービス
 ■ 導入に必要なシステム一式を顧客が保有 一定期間ごとにシステム更改 ■ 顧客ニーズに応じて柔軟にカスタマイズ可能 ■ 大手カード会社の高いシェアを保持	 ■ 当社が保有するシステムを顧客に提供 月額料金制（複数年契約） ■ 初期投資費用が抑えられ、中規模カード会社・新規参入企業などが利用